

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 19 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純・中野さつき		
健福-20	重点事業	高齢者施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。
効果	施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・腰越地域老人福祉センターの建設工事及び工事監理業務委託については、前年度からの通次繰越分を含めて実施した。 ・腰越地域老人福祉センター外構工事は、年度内に完了しなかったため、翌年度へ繰越を行った。 ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の施設整備に係る補助金は、工事が遅れたため交付しなかった。 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設準備に係る補助金を交付したが、施設整備については、整備計画の変更により補助金を交付しなかった。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	202,251	325,961	当初予算(千円)	104,622		
	国県支出金	15,179	7,412	国県支出金	3,379		
	地方債	86,700	275,600	地方債			
	その他	95,957	0	その他			
	一般財源	4,415	42,949	一般財源	101,243		
事業運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,826	7,820	人件費(千円)	7,917		
	総事業費(千円)	210,077	333,781	総事業費(千円)	112,539		
	市民1人当りの経費(円)	1,185	1887	市民1人当りの経費(円)	638		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 整備事業の進行管理、新たな整備事業者公募を行い、特別養護老人ホームの整備に努める。小規模多機能型居宅介護事業所のスプリンクラー設置について引き続き助成を行っている。腰越地域老人福祉センターは本体工事が完了し、指定管理者による管理・運営を開始した。今後は、老人福祉センター管理運営事業において健全な管理・運営を行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	腰越地域老人福祉センターを平成29年4月1日に開所した。高齢者の健康増進、コミュニケーションの地域拠点として、適正な管理・運営が行われるように指導・助言を行っていく。特別養護老人ホームの整備については、工事着手中の事業計画を後押しし、平成29年度中の開設に向け引き続き支援を行っていく。また、新たな整備事業計画の公募を行って、計画実現に向けて事業を推進する。施設開設のための備品購入助成、既存施設への防犯カメラ設置助成等を通じて、高齢者施設による高齢者福祉サービスの充実を図った。今後もスプリンクラー設置等助成を行っていく。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	新たな特別養護老人ホームの整備事業者を再度公募、選定し、鎌倉市高齢者保健福祉計画(平成27年度から平成29年度)に基づき整備する必要がある。スプリンクラー未設置である既存の小規模多機能型居宅介護1事業所のスプリンクラー設置を進める。 腰越老人福祉センターの平成29年4月1日開設に向けた手続き・整備を行う。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	腰越地域老人福祉センターの整備については、平成28年度末に本体建設工事を完了し、平成29年4月1日に開所した。 整備を予定していた特別養護老人ホームは、平成29年度中の開設を目指し工事を進めている。 平成28年度開設の看護小規模多機能型居宅介護事業所(1事業所)に対して、開設当初から質の高いサービスを提供できるよう、事務機器等の備品購入に係る経費を助成した。 高齢者施設(2施設)に対して、防犯カメラの設置等に係る経費を助成し、防犯対策が強化されるように図った。 介護従事者の負担軽減に資する介護ロボットを導入した訪問介護事業所(1事業所)に対して、導入に係る経費を助成した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成30年度までに整備を図るべく新たな特別養護老人ホームの整備事業者の公募を行ったが、応募者はなかったため、再度公募、選定し、鎌倉市高齢者保健福祉計画(平成27年度から平成29年度)に基づき整備する必要がある。スプリンクラー未設置である既存の小規模多機能型居宅介護1事業所のスプリンクラー設置を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	特別養護老人ホーム整備数(平成29年4月1日現在・短期入所定員数は除く)及び65歳以上人口に対する充足率						
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	
他市実績	9施設693人 1.31%	20施設2,140人 1.77%	12施設990人 1.48%	3施設268人 1.48%	17施設1,295人 1.30%	12施設819人 1.37%	

比較事項	65歳以上人口及び65歳以上高齢化率(平成28年1月1日現在)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	
他市実績	52,949人 30.7%	120,875人 29.9%	66,959人 26.1%	18,079人 31.6%	99,878人 23.5%	59,977人 25.1%	

比較事項							
団体名							
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	用地確保の難しさはあるものの、今後も整備を進める必要がある。
----------------------	--------------------------------

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	特別養護老人ホーム整備数	単位	人	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
計画的整備の達成状況の把握	目標値	663	693	773	863		
	実績値	663	673	693			
	達成率	100.0%	97.1%	89.7%			

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	工期の遅れにより、平成28年度中を目指していた特別養護老人ホームの開設が遅れ、平成28年度の達成率が89.7%となったが、平成29年度中の開設を目指し支援する。 引き続き特別養護老人ホームの整備を進めるため、平成30年度からの鎌倉市高齢者保健福祉計画において目標整備数を策定し、実現に向けて取り組んでいく。
-----------------------	--